

＜静脈栄養管理の基礎＞2日間(予定)

時間	項目	内容
＜医療における専門職業人としての倫理観や責任感を養う研修＞		
30分	医療者としての職業倫理	医療者としての管理栄養士の在り方を職業倫理の観点から考察する。
30分	栄養サポートチームの目的と意義	栄養サポートチームの歴史的背景、将来を含めて、なぜ現代の医療制度において栄養サポートチームが必要とされるのかを解説する。
30分	栄養サポートにおけるディジーズマネジメントの概念	栄養サポートチームは単に栄養サポートのためにあるのではなく、医療全体を踏まえたディジーズマネジメントの中で位置づけられていることを解説しその意義を認識する。
＜栄養サポートに必要な知識や技術を深める研修＞		
80分	経静脈栄養法の特徴(優位性・合併症を含む)	経静脈栄養法の必要性や利点を説明すると共にバクテリアトランスロケーション、カテーテル感染症の危険性などの短所を解説する。末梢静脈栄養法と中心静脈栄養法それぞれの特徴と適応を解説する。
50分	静脈栄養剤の基礎知識	末梢静脈栄養と中心静脈栄養に分けて、栄養剤の組成、特徴を解説する。また栄養剤の代表的な組み合わせを紹介する。
80分	経静脈栄養のプランニングとモニタリングの実際	経静脈栄養の基礎知識を得たうえで、同栄養法のプランニング(投与量・組合せ・投与経路の選択・期間など)とモニタリング(検査値・身体観察その他)および評価について学ぶ。
80分	経静脈栄養剤の投与システムの基礎(側管投与方法・薬剤配合変化を含む)	経静脈栄養剤の投与に用いる機材の組み合わせ、投与経路や速度についての基本的事項を解説する。使用栄養剤の基本的な組み合わせ・輸液栄養剤の適正な調剤法・栄養剤の側管投与方法・薬剤配合変化・栄養量の変化などを解説する。
30分	薬剤の簡易懸濁法の実施と有用性	経腸栄養剤(経腸栄養食品)と同時に投与される薬剤の投与方法を簡易懸濁法を中心に解説し、その特徴や有用性にも触れる。
50分	栄養療法に関する問題点・リスクの抽出	栄養療法中に起こる問題点やリスクをどのように早期に発見し対策を立てるかについての基本的事項を学ぶ。
80分	栄養療法に関する合併症の予防・発症時の対応	リフィーディングシンドローム・発熱(カテーテル感染症)・下痢・脱水・電解質異常・糖代謝異常・胃食道逆流など静脈栄養法や経腸栄養法を採用している場合に発生しやすい合併症を取り上げ、その対策のポイントを解説する。
＜栄養サポートチームの一員として業務を円滑に遂行できる能力を養う研修＞		
50分	栄養サポートチームが有効に機能するための基本的な考え方	栄養サポートチームが有効に機能するために必要な院内環境整備・会議の持ち方・関連部門との連携他必要な事項を解説する。
80分	事例に学ぶ	栄養サポートチームにおいて必要な情報共有の在り方・症例検討会で提案・患者への説明などを事例報告から考察する。またヒヤリハット・危機管理などを含める。
50分	フードサービスとの連携	栄養サポートは複数の栄養法が併用される場合が多い。経口摂取を行う場合には個人の摂食能力や多様なメニュー展開が必要となるためフードサービスとの連携が不可欠となることから患者給食の概要を理解する。また連携の在り方や課題を検討する。